



2026年5月20日

各位

会社名 クリングルファーマ株式会社
住所 大阪市北区中之島四丁目3番51号
Nakanoshima Qross 未来医療 R&D センター10階
代表者名 代表取締役社長 安達喜一
(コード番号: 4884 東証グロース)
問い合わせ先 取締役経営管理部長 村上浩一
TEL. 06-7653-6728

欧州頸椎研究学会主催の CSRS-Europe Annual Meeting における HGF の臨床データ解析結果の発表に関するお知らせ

2026年5月27日から5月29日まで、英国ロンドンで開催される Cervical Spine Research Society-Europe (CSRS-Europe: 欧州頸椎研究学会) が主催する「41st CSRS-Europe Annual Meeting」において、脊髄損傷急性期に対する HGF タンパク質の臨床データの解析結果が、以下の演題で発表されます。

(学会公式サイト: <https://csrs-europe.org/events/41st-annual-meeting-london-2026>)

演題: Efficacy of Intrathecal Administration of Recombinant Human Hepatocyte Growth Factor for Acute Cervical Spinal Cord Injury with AIS A at 72 h Post-Injury: Phase III Study

演者: 北村和也 (防衛医科大学校病院 整形外科 学内准教授)

発表日時: 2026年5月28日(木) 16:27~16:35 (現地日時)

Lecture Session 5 Free paper session D: Trauma and SCI

当社は、脊髄損傷急性期患者を対象として、組換えヒト HGF タンパク質である oremermin alfa (開発コード: KP-100IT) を投与する第Ⅲ相臨床試験 (多施設共同非ランダム化試験、以下「本試験」) を実施しました。本発表では、本試験における事後解析結果を中心に、すでに終了している第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験の結果との比較について報告される予定です。重度頸髄損傷に対する HGF タンパク質治療の有効性及び臨床的位置づけについて、より包括的な知見が示されることが期待されます。

CSRS-Europe は、脊椎・脊髄疾患領域における欧州を代表する国際学術集会であり、世界各国から第一線の専門家、研究者、外科医が一堂に会し、頸椎手術に関する最新の進歩や課題、さらには論点となるテーマについて活発な議論が行われる重要な場です。

当社は、2026年4月24日付「脊髄損傷急性期を対象とする組換えヒト HGF タンパク質「oremermin alfa」の欧州における希少疾病用医薬品指定の取得のお知らせ」のとおり、日本、米国及び欧州の三極において本剤のオーファン医薬品指定を取得しております。今回の CSRS-Europe での発表を通じて oremermin alfa に関する欧州での認知度向上を図るとともに、日本及び米国に加え、欧州における開発の可能性も視野に入れ、グローバルでの開発推進を目指してまいります。

以上

脊髄損傷について

外傷性脊髄損傷は、交通事故や転倒等により脊髄が損傷されることで生じ、運動機能、感覚機能および自律神経機能に障害を来す疾患です。欧州における外傷性脊髄損傷の有病率は、複数の疫学研究に基づき人口1万人当たり約4.2~4.5例と推定されております*。また、受傷後に完全な神経学的回復が認められる患者は極めて限られているとされており、本疾患は長期にわたり機能障害が持続する可能性がある重篤な疾患として認識されています。

*出典：Lee et al., Spinal Cord. 52:110-116, 2014; Singh et al., Clin Epidemiol. 6:309-331, 2014; GBD Spinal Cord Injuries Collaborators. Lancet Neurol. 22:1026-1047, 2023.

HGF (Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子) について

HGFは、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGFは神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾大学再生医療リサーチセンター 岡野栄之教授及び同医学部整形外科学教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。また、ALSに対する薬理効果は、東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 青木正志教授らのグループの研究により示されました。新たな神経難病治療薬として、HGFへの期待が高まっています。

他方、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋教授らのグループは、HGFの抗線維化作用に着目し、線維化疾患である声帯癬痕に対する薬理効果を明らかにしました。HGFには、声帯癬痕を端緒として、他の線維化疾患への適応拡大の可能性が期待されています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象にHGFタンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGFタンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする第Ⅲ相臨床試験を終了し、さらに追加臨床試験に向けた準備を進めています。また、声帯癬痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGFタンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。